

プラチナドライブプロジェクト

高齢者による自動車事故のない社会の実現のため、あまり普及していない自主返納制度を普及させる方法を考えたものです。

どうして普及しないのか...
アンケートで上がった点



足がなくなる



運転も趣味のつ



畑をやっている



二人暮らし



他人車を感じる



中途半端な距離

今の返納制度はどちらかというと都市部や公共交通機関が発達している地域向けで、地方向けではありません。地方では、畑をやっている人も多く、作物や農機具を運ぶためにはどうしても車が必要になります。また、公共交通機関が発達しておらず微妙な位置では車を使うとの声が上がりました。子供と暮らしている人は返している人がほとんどでした。

それらの問題を

解決するのが「プラチナドライブプロジェクト」です。

気軽に出かけられる!



身分証として
活用方法!!

スーパーまでの乗り合いバスを出

すことで、人と関わる機

会が増え、人に頼りや

すくなり、高齢者

同士の見守り活動な

どで孤独死の防止

が期待できます。

さらに、農業サポート

を行うことで雇用

を生み、地方に人

を呼びます。高

齢者ばかりが得

をするのではなく、社

会全体にはたらきかけるのが

このプロジェクトです。

返納者割引

スーパー等で品物を
安く買うことが
できたり、公共交通
機関を安く利用
することができま



買い物でタクシー無料

タクシー会社連携し
スーパーまで乗り合
いタクシーを運行。
スーパーで買い物す
ると料金が無料
になる。



免許証
を
返納



プラチナ
を
交付



自動運転車先行試乗権
自動運転に抵抗のある
高齢者も少なくない。体験
することで自動運転も身近
に感じてもらう。



農業サポート
手入れできなくなった農地等を
企業や若者に貸すことで、
新たに雇用を生み出すこ
とができる。

高齢者が自分から免許を返納したい
と思える仕組み作りが高齢者による自動車
事故のない社会の実現につながります。